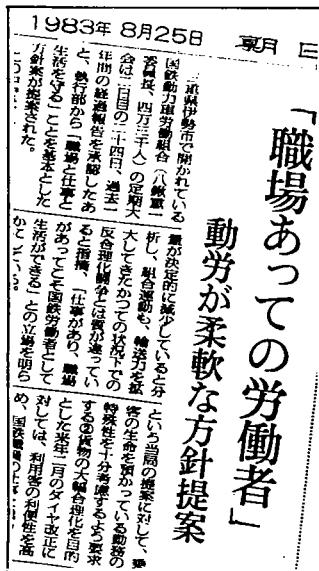




国鉄動力車労働組合・全国鉄施設労働組合

△なんとおぞましい感覚・精神であることか…!

□歯止めなき右傾化=堕落の道へ。(動労39回大会)



国鉄労働者の団結で職場と仕事を守りう

その「標語」で、「ハチの巣をつければササレルよ」、「ヤブをつければヘビが出る」としている。これこそ動労「本部」革マル式「冬の時代」論をもつてする「闘うべきではない」、「闘う者は挑ものである。

国鉄労働者の職場既得権を守る闘いを嘲笑し、闘うことと仕事をどう守るのかにあるなどとして、動労千葉の闘いを全面的に否定し、かつ、国鉄当局の先兵となつて、国鉄労働運動の破壊攻撃にうつてでてきてている。最近では、「労働組合の真の使命は、やみくもにたたかうだけでなく、組合員の職場と仕事をどう守るのかにある」などとして、闘うことと仕事を守る」ためにもつと「働く」なるものを方針にし、国鉄当局の合理化攻撃に全面屈服・協力しているのである。「ポスター」はこのことを正直に表わしたものである。

動労「本部」革マルは、これまでの国労とわが局の先兵となつて、国鉄労働運動の破壊攻撃にうつてできていている。最近では、「労働組合の真の使命は、やみくもにたたかうだけでなく、組合員の職場と仕事をどう守るのかにある」などとして、闘うことと仕事を守る」ためにもつと「働く」なるものを方針にし、国鉄当局の合理化攻撃に全面屈服・協力しているのである。「ポスター」はこのことを正直に表わしたものである。

最近、動労「本部」のいる職場で、奇妙な「ポスター」が貼り出されている。組合の掲示板に貼りだされたこの奇妙な「ポスター」は、今日の動労「本部」革マルの反動路線を如実に示している。しかも、全施労と共同で製作したこの「ポスター」こそ、国鉄版・反動潮流の全体を公然化したものである。われわれは、政府・支配者階級・国鉄当局に対してもからず対決する姿勢をスローガン・ポスター等で主張することが労働運動・組合の原則的立場であると認識しているものである。にもかかわらず、貼り出された「ポスター」は、その一片の階級性すら見られぬしろものであり、われわれは厳しく断罪し、このように反動化した動労「本部」革マルを打倒・一掃しなくてはならない。

「働く運動」を煽動する反動ボスター

ハチの巣つければササレルよ と屈服を煽る反動ボスター

闘うな!! もうと防け!! 企業を守れ と煽動する動労本部革マルと全施労・翁党

日刊 動労千葉

83.8.26

No. 1427

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
(鉄電)二九三五〇六・(公衆)〇四七二二二七一〇七

全組員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！